

小4

漢字忍心法帖

①

名前

「

低	付	印	夫	最	選	続	照	塩	以
低 低 ひくい・テイ	付 付 つける・フ	印 印 しるし・イン	夫 夫 おっと・フ	最 最 サイ・もつと	選 選 えらぶ・セン	続 続 つづける・つづく・ゾク	照 照 てる・シヨウ	塩 塩 しょく・エン	以 以 イ
低 低 最低	付 付 付録	印 印 P	夫 夫 大	最 最 最	選 選 選	続 続 連続	照 照 日照り	塩 塩 食塩	以 以 以上
低 低 最低	付 付 付録	印 印 P	夫 夫 大	最 最 最	選 選 選	続 続 連続	照 照 日照り	塩 塩 食塩	以 以 以上

正しい筆順で丁寧によく書きよう!!

小4

漢字忍心法帖

②

名前

「

億	説	伝	協	加	参	児	約	法	松
億億億億億 億億億億億 億億億億億 億億億億億	説説説説説 説説説説説 説説説説説 説説説説説	伝伝伝伝伝 伝伝伝伝伝 伝伝伝伝伝 伝伝伝伝伝	協協協協協 協協協協協 協協協協協 協協協協協	加加加加加 加加加加加 加加加加加 加加加加加	参参参参参 参参参参参 参参参参参 参参参参参	児児児児児 児児児児児 児児児児児 児児児児児	約約約約約 約約約約約 約約約約約 約約約約約	法法法法法 法法法法法 法法法法法 法法法法法	松松松松松 松松松松松 松松松松松 松松松松松
億一億 万億 億 億	説解 明説 説 説	伝伝 言記 言 言	協協 調力 調 力	加追 工加 工 加	参参 上加 上 上	児児 育童 児 童	約約 節束 約 束	法法 方律 方 律	松松 松竹 林梅 林

正しい筆順で丁寧につくり書こう!!

小4

漢字忍心法帖

③

名前

「

」

完	例	順	博	然	各	散	候	産	変
完完 完完 完完 完完	例例 例例 例例 例例	順順 順順 順順 順順	博博 博博 博博 博博	然然 然然 然然 然然	各各 各各 各各 各各	散散 散散 散散 散散	候候 候候 候候 候候	産産 産産 産産 産産	変変 変変 変変 変変
完全 完全 完全 完全	前例 前例 前例 前例	順道 順道 順道 順道	博覧 博覧 博覧 博覧	全然 全然 全然 全然	各自 各地 各地 各地	分散 分散 分散 分散	天候 天候 天候 天候	出生 出生 出生 出生	变身 变身 变身 变身

正しい筆順で丁寧によく書きこう!!

小4

漢字忍心法帖

④

名前

「

共	典	辞	関	初	類	腸	要	必	別
共 共 共 共 共	典 典 典 典 典	辞 辞 辞 辞 辞	関 関 関 関 関	初 初 初 初 初	類 類 類 類 類	腸 腸 腸 腸 腸	要 要 要 要 要	必 必 必 必 必	別 別 別 別 別
共感 共通	祭典 辞典	辞書 辞典	関所 関心	最初 最初	種類 人種	大腸 胃腸	要点 要望	必要 必死	別れる 區別
キヨウ・とも	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
⑥	⑧	⑬	⑭	⑦	⑱	⑬	⑨	⑤	⑦

正しい筆順で丁寧につくり書こう!!

小4

漢字忍心法帖

⑥

名前

「

」

郡	積	節	械	機	利	熱	量	牧	差
郡郡郡郡郡郡 郡郡郡郡郡郡	積積積積積積 積積積積積積	節節節節節節 節節節節節節	械械械械械械 械械械械械械	機機機機機機 機機機機機機	利利利利利利 利利利利利利	熱熱熱熱熱熱 熱熱熱熱熱熱	量量量量量量 量量量量量量	牧牧牧牧牧牧 牧牧牧牧牧牧	差差差差差差 差差差差差差
郡郡郡郡郡郡 郡郡郡郡郡郡	積積積積積積 面積	節節節節節節 調節	械械械械械械 機械	機機機機機機 危機	利利利利利利 勝利	熱熱熱熱熱熱 熱心	量量量量量量 分量	牧牧牧牧牧牧 牧草	差差差差差差 交差

正しい筆順で丁寧につくり書こう!!

小4

漢字忍心法帖

⑦

名前

「

結	信	芽	胃	借	折	極	果	漁	街
結結結結結 結結結結結	信信信信信 信信信信信	芽芽芽芽芽 芽芽芽芽芽	胃胃胃胃胃 胃胃胃胃胃	借借借借借 借借借借借	折折折折折 折折折折折	極極極極極 極極極極極	果果果果果 果果果果果	漁漁漁漁漁 漁漁漁漁漁	街街街街街 街街街街街
結結 論局	自信 信用	芽生え 発芽	胃薬 胃腸	借用 借金	折半 左折	消極的 南極	成果 果实	漁船 漁業	商店街 市街地

正しい筆順で丁寧につくり書こう!!

小4

漢字忍心法帖

⑧

名前

「

」

欠	兆	残	念	季	建	的	民	飛	置
欠欠欠欠 ケツ	兆兆兆兆 チヨウ	残残残残 チヨウ	念念念念 のこる・ザン	季季季季 ネン	建建建建 たつ・ケン	的的的的 テキ	民民民民 ミン	飛飛飛飛 とぶ・ヒ	置置置置 チ・おく
欠欠欠欠 ケツ	一兆 いち ちよう	残残 ざん ざん	念記念 ねん き ねん	四季 し せう	建建 けん けん	目的的中 てき てき ちゆう	民民 みん みん	飛行 ひこう らい	配置 はい ち
欠欠 けつ けつ	欠 けつ	暑 しよ	念 ねん	子 し	設 せつ	自 じ	氏 し	飛 ひ	置 ち
席 せき	④	⑥	⑩	⑧	⑨	⑧	⑤	⑨	⑬

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小4

漢字忍心法帖

⑨

名前

「

官	器	便	位	士	訓	望	願	驗	察
官官官 官官官 官官官	器器器 器器器 器器器	便便便 便便便 便便便	位位位 位位位 位位位	士士士 士士士 士士士	訓訓訓 訓訓訓 訓訓訓	望望望 望望望 望望望	願願願 願願願 願願願	驗驗驗 驗驗驗 驗驗驗	察察察 察察察 察察察
器官 官官 官官	樂器 食器 器器	郵便 便利 便利	方一位 一位位 一位位	武士 武士 武士	訓讀 音訓 音訓	望遠 希望 希望	念願 願望 願望	体験 実験 実験	考察 觀察 觀察
⑧	⑮	⑨	⑦	③	⑩	⑪	⑲	⑱	⑭

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小4

漢字忍心法帖

10

名前 []

仲	觀	堂	祝	陸	管	巢	無	試	喜
仲仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲 仲仲仲仲仲	觀觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀 觀觀觀觀觀	堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂 堂堂堂堂堂	祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝 祝祝祝祝祝	陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸 陸陸陸陸陸	管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管 管管管管管	巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢 巢巢巢巢巢	無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無 無無無無無	試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試 試試試試試	喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜 喜喜喜喜喜
仲間 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り 仲直り	観点 観光 観点 観光 観点 観光 観点 観光 観点 観光 観点	食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂 公食堂	祝日 祝電 祝日 祝電 祝日 祝電 祝日 祝電 祝日 祝電 祝日	陸上 陸地 陸上 陸地 陸上 陸地 陸上 陸地 陸上 陸地 陸上	管理 血管 管理 血管 管理 血管 管理 血管 管理 血管 管理	鳥の巣 巢箱 鳥の巣 巢箱 鳥の巣 巢箱 鳥の巣 巢箱 鳥の巣 巢箱 鳥の巣	無害 無人島 無害 無人島 無害 無人島 無害 無人島 無害 無人島 無害	試験 試合 試験 試合 試験 試合 試験 試合 試験 試合 試験	悲喜 喜劇 悲喜 喜劇 悲喜 喜劇 悲喜 喜劇 悲喜 喜劇 悲喜

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

四字熟語忍法帖テスト

点

①

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①																					
一	日	千	一	心	同	体	空	前	絶	後	危	機	一	髪	自	画	自	賛	弱	肉	強	食	絶	体	絶	命	前	代	未	聞	半	信	半	疑	臨	機	応	変	問題	意味
待ち遠しくて、一日が千年にも思えるほど、時間のたつのがおそく感じられること。			二人以上の方が心を一つにして、一人の人間のようになること。		今までに比べられる例が一度もなく、これから先も二度と同じような例は起こらないと思われること。		髪の毛一筋ほどの違いで危険なめにあいそうなこと。		自分で自分のしたことをほめること。		弱いものをぎせいにして、強いものが栄えること。		どうしても逃れる方法のない困難な立場にあること。		これまでいちども耳にしたことがないような、めずらしい、かわったこと。		なかば信じ、なかば疑うこと。ほんとうかうそか、判断に迷うこと。信じきれない状態。		時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。																					

四字熟語忍法帖テスト

点

②

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題		意味																		
意	気	投	合	一	部	始	終	一	世	一	代	群	集	心	理	起	死	回	生	自	給	自	足	十	人	十	色	電	光	石	火	千	変	万	化	百	発	百	中		
考えや好みなどが一致して、気持ちがぴったりに合うこと。				物事の始めから終わりまで全部。				一生のうちでもこれがいちばんという、はなばなしのおこないをすること。				群がり集まったために生じた、ふだん一人のときは異なる特別な心理状態。多くの場合、気持ちが高ぶり、他人の行動や行動にひきずられて、ふつうではできないようなことまでしやすくなる。				死にかかっていた病人を生き返らせること。非常に悪い状態からよい状態へ立ち戻らせること。				食物や衣服など、自分が生きていくのに必要なものを自分で生産し、用を達すること。				好みや考えが人それぞれに違うこと。				きわめて短い時間。とてもすばやい行動。				ものごとの変化の多いこと。場面や事件がつぎつぎと変わっていくこと。場面や事件が				発射すれば必ず命中すること。予想や計画がいつも思ったとおりに実現すること。					

四字熟語忍法帖テスト

点

③

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		
異		一		一		右		公		四		取		大		二		不		問題
口		望		石		往		平		苦		捨		器		束		言		
同		千		二		左		無		八		選		晚		三		実		
音		里		鳥		往		私		苦		択		成		文		行		意味
多くの人が口々に同じことを言うこと。多数の意見が一致すること。		見渡す限り、広々としている様子。		一つのことをして、二つの利益や効果を上げること。		まとまりなくあちこちへ動き、うるたえ混乱するようす。		一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲を求めないこと。えこひいきせず、私心のないこと。		非常に苦しむこと。苦勞の連続であること。		いくつかのなかから、よいもの、必要なものを選び出して、悪いもの、不必要なものを捨てること。		ひとがらや才能のスケールが大きく、優れている人は、若いころは目立たず、年をとつてから大成するということ。		数が多くても値段が非常に安いこと。		あれこれ言わずに、よいと思うことやするべきことを、だまって実行すること。		

小4

四字熟語忍法帖テスト

点

④

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題	意味																		
付	和	雷	日	進	月	歩	大	同	小	異	心	機	一	転	自	業	自	得	言	語	道	断	公	明	正	大	一	朝	一	夕	温	故	知	新	以	心	伝	心		
自分の考えを持たないで、人の意見にいいかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動すること。			日に日に、驚くほどのはやさで進歩すること。		小さなちがいはあるが、おおよそのところは同じであること。大差のないこと。		あることをきつかけとして、心がけが、がらりと変わって、望ましい方へ向かうこと。		自分が悪いことをしたために、よくない報いを受けること。		言葉も出ないほど、まったくひどいこと。あきれ言葉も出ないこと。		公平で、不正やかくしごとがなく、少しの私心もないこと。		ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。		昔のことを訪ねもとめ、そこから新しい知識を得ること。		だまっけてもたがいに心が通じること。																					

四字熟語忍法帖テスト

点

⑤

名前

※四字熟語の読み方を書きましょう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題	意味
一	期	一	一	拳	一	一	五	里	七	七	針	針	單	刀	馬	耳	無	我	有	名	問題	意味
会	一	會	長	兩	一	霧	中	八	起	小	棒	大	入	東	風	夢	中	無	無	実		
一生の間にただ一度出会うこと。生涯に一度限り。			一つのことをして、二つの利益を得ること（「一石二鳥」）		長所もあり、短所もあること。		五里四方に広がった霧の中にいるように、すつかり迷って、どうしてよいかわからないこと。		何度失敗してもくじけずに立ち上がって努力をつづけること。		ちょっとしたことをおおげさに言うこと。		前置きなどなしに、直ちに本題に入ること。		人の意見や忠告をいっこうに気につけないこと。		あることに熱中して、我を忘れること。		広く知られているが、名ばかりで、実際の身や性質がともなっていないこと。			

四字熟語忍法帖テスト

点

⑥

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題	意味																		
朝	三	暮	千	差	万	別	晴	耕	雨	読	四	面	楚	歌	三	々	五	々	三	寒	四	温	完	全	無	欠	因	果	応	報	一	進	一	退	我	田	引	水		
目先の違いにこだわって結果が同じになることに気が付かないこと。また、言葉の上だけでうまく話して他人をだましたり、ばかにしたりすること。			多くのものがそれぞれ違っていること。				晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。転じて、世間のわずらわしさをはなれ、のんびりと自由に生活すること。				まわりがみな敵となり、孤立すること。				三人、五人と、少人数が連れ立って行動するようす。				三日間くらい寒い日がつづき、そのあと四日間ぐらいい暖かい日が続くという、冬から春先にかけての気候。				完全で、少しも不足するところがない。				過去および前世の行為の善悪に応じて、報いがあること。				状態や情勢がよくなったり悪くなったりすることが繰り返されること。				自分の都合のいいように考えたり、したりすること。					

四字熟語忍法帖テスト

点

⑦

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①			
一	一	一	一	意	雨	海	九	急	興	古										問題	
触	網	刀	味	天	千	死	転	津	味	今											
即	打	両	深	順	山	一	直	々	味	東											
発	尽	断	長	延	千	生	下			西											
ちよつとさわつただけでもすぐに爆発し起きそうなこと。		網を打って、一度にたくさん魚をとらえること。悪人の一味を、一度に残らずとらえること。		一刀のもとに真っ二つに切ること。物事を思い切って処理することのたとえ。		言葉などが深い意味をふくんでいるようす。		予定の日が雨のとき、晴れる日まで日程を延ばすこと。		世の中のいろいろな経験を積んでいて、ずるがしこく、したたかであること。また、そのような人。		ほとんど死にそうであったのが、危うく助かる。		事態が急にかわって結末・解決にいたるところ。		次から次へと興味がわいてくるようす。		むかしから今にいたる、せかいのあらゆるところ。		意味	

四字熟語忍法帖テスト

点

⑧

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①																																																																																																																																																																																																																													
小	春	日	黄	金	疑	心	奇	想	喜	怒	哀	再	三	再	四	七	転	八	倒	自	問	自	答	終	始	一	貫	自	由	自	在	問題	意味																																																																																																																																																																																																															
和	代	鬼	外	楽	四	倒	答	貫	在	す。	どの	ように	でも	自分	の思い	通りに	できる	よう	ある	態度	や状態	が、	初め	から	終わり	まで	変	わ	ら	ない	おと、	自分	自身	に	問	い	か	け	て、	自分	で	答	え	る	こ	と。	が	ま	ん	で	き	な	い	痛	み	や	苦	し	み	で	の	た	う	ち	ま	わ	る	こ	と。	喜	び・	怒	り・	悲	し	み	。	人	間	の	い	ろ	い	ろ	な	感	情	を	あ	ら	わ	し	た	も	の。	二	度	、	三	度	、	さ	ら	に	何	度	も	く	り	か	え	し	て。	ふ	つ	う	で	は	思	い	つ	か	な	い	よ	う	な	変	わ	っ	た	こ	と。	また	、	そ	の	よ	う	な	考	え	。	疑	い	の	心	を	い	だ	く	と、	あ	り	も	し	な	い	恐	ろ	し	い	こ	の	姿	を	見	た	り	す	る	よ	う	に、	な	ん	で	も	な	い	こ	と	ま	で	疑	わ	し	く	恐	ろ	し	く	な	る	。	勢	力	や	活	動	が	も	つ	と	も	盛	ん	で、	栄	え	て	い	る	時	代。	最	盛	期。	冬	の	初	め	の	こ	ろ、	春	の	よ	う	に	お	だ	や	か	で	暖	か	い	天	気。

四字熟語忍法帖テスト

点

⑨

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩			⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題	意味																
四	六	時	晴	天	適	材	適	所	独	立	独	歩	二	者	択	一	二	人	三	脚	白	砂	青	松	八	方	美	人	千	載	一	遇	創	意	工	夫		
一日中。いつも。常に。			晴れわたった天気。心をやましいところがない。潔白なこと。疑いが晴れ、無実が明らかになること。		人を、その人の才能や能力にふさわしい仕事につけること。		他人にたよらないで、自分の信じるところを行くこと。		二つのうちの、どちらか一つを選ぶこと。		二人が並んで内側の足を結び、走る競技。二人が協力して一つのことにあたることのたとえ。		白い砂浜がつづき、青々とした松が並ぶ美しい浜辺の風景。		だれからも悪く思われないように揚力よくふるまう人。		千年のあいだに一回めぐりあうかどうかと。いった、めったにないこと。		自分の力で新しいものを考え出したり、よい方法をいろいろ考えたこと。																			

四字熟語忍法帖テスト

点

⑩

名前

※四字熟語の読み方を書きましよう。

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		
多	種	他	力	表	裏	品	行	変	幻	三	日	優	柔	用	意	立	身	老	若	問
多	様	本	願	一	体	方	正	自	在	坊	主	不	断	周	到	出	世	男	女	題
種類や形式がさまざまであること。		自分で努力しないで、他人の力や助けをあてにすること。		二つのものが切りはなせない深い関係にあること。		人のふだんの行いが正しいこと。		思いのままに、突然現れたかと思うと突然消えらること。すばやく、思い通りに変化すること。		あきつぽく、何をしても長続きしないこと。また、その人。		ぐずぐずしていて、なかなか決断できないこと。		物事を行うために必要な物や条件を、細かいところにもで注意をくばって、手落ちがないようにととのえること。		社会に広く名前を知られ、立派な地位につくこと。		年寄りと若い者、男性と女性みんな。		意

⑩ しの のびん

⑨ せの ひく い草

⑧ ひく の組になる

⑦ ノートの く ふう

⑥ 暑さが っづ く

⑤ 印 | を書きこむ

④ 点を | 付ける

③ できごとを | 選ぶ

② 夏の | 日照り

① 四年 | 以上 | たつ

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ 会に

さん
か
 する
- ⑨ 話を

--

った
 える
- ⑧ みんなで

きよう
りよく
 する
- ⑦

ほう
ほう
 を考える
- ⑥

--

やく
 そくをやぶる
- ⑤ 児童館
 ができる
- ④ 塩を
 加える
- ③ 松
 の木
- ② 二億年前
- ① ていねいな説明

1問10点

点

コメント;

日付

⑩

 かん ぜん
に 治る

⑨

 はく ぶつ かん
に 行く

⑧

 し ぜん
を 守る

⑦ アジアの

 き こう

⑥

 じゅん ぽん
に ならぶ

⑤ 分 散 して おく

④ 大 き な 変 化

③ 日 本 各 地

② 車 の 生 産

① 例 を あ げ る

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩

いろいろ
なしゆ

じ
しや

で
調
べ
る
- ⑨

いろいろ
な
し
ゆ

じ
しや

で
調
べ
る
- ⑧

い
が
弱
い

ち
や
う
- ⑦

夏
の
祭

ち
や
う
- ⑥

夏
の
祭

ち
や
う
- ⑤

共
感
を
よ
ぶ

ち
や
う
- ④

パ
ソ
コ
ン
に
関
心
を
も
つ

ち
や
う
- ③

別
の
場
所
に
い
く

ち
や
う
- ②

要
点
を
よ
く
聞
く

ち
や
う
- ①

必
ず
帰
る

ち
や
う

1問10点

点

コメント;

日付

⑩ 世界
 [] き
 [] ろく
 を や ぶ る

⑨ 肉を
 [] や
 く

⑧ 漢字の
 [] な
 り 立 ち

⑦ テニスの
 [] し
 [] あい
 に し ま う

⑥ [] そう
 [] こ
 に し ま う

⑤ 庭を木で 囲む

④ ひもを 結ぶ

③ 芸 | じゅつの秋

② 右側 | つうこう

① 学校の 周り

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ っ
 み木で遊ぶ
- ⑨ 勉強の りょう
 をふやす
- ⑧ ねっ
 がでる
- ⑦ き
 ゴミを り
かい
 にくわしい よう
 する
- ⑤ 円の面積
- ④ 部屋の温度を調節する
- ③ 牛が牧草を食べる
- ② 日が差す
- ① 郡部の学校

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ けつ
 論を言う
- ⑨ 成 か
 が上がる
- ⑧ なん きよく
 のペンギン
- ⑦ い
 ちようが弱い
- ⑥ りよう
 に出る
- ⑤ 市街地
- ④ えだが折れる
- ③ 友だちを信用する
- ② 芽が出る
- ① 本を借りる

1問10点

点

コメント;

日付

⑩ き せつ
の花

⑨ 空を と
ぶ

⑧ 花びんを お
く

⑦ 家を た
てる

⑥ き ねん
の行事

⑤ 一兆円 の
予算

④ 目的 を
持つ

③ 古い民家

② 最後まで残る

① 私の欠点

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ マラソンでー
□_い
になる
- ⑨ けいさつ
□_{かん}
- ⑧ 武_ぶ
□_し
のなさけ
- ⑦ □_{のぞ}
みをかええる
- ⑥ □_{じっけん}
をする
- ⑤ 食器 | を洗う
- ④ ささやかな願 | い
- ③ 音読みと訓 | 読み
- ② 観 | 察 | 日記
- ① ゆう | 便 | 局

1問10点

点

コメント ;

日付

⑩ じょうりく
地点

⑨ うでの
 けっかん

⑧ むじんとう

⑦ なかも
を集める

⑥ 鳥の
 す
を見つける

⑤ 公会堂
ができる

④ 祝電
を打つ

③ 新しいスポーツ
を試みる

② 観光バス
にのる

① 相手
が喜ぶ

1問10点

点

コメント;

日付

⑩ 塩 しお
のびん

⑨ せの
低 ひく
い草

⑧ 最 さい
後 ご
の組になる

⑦ ノートの
工 く
夫 ふう

⑥ 暑さが
続 つづ
く

⑤ 印 しるし
を書きこむ

④ 点を
付 つ
ける

③ できごとを
選 えら
ぶ

② 夏の
日 ひ
照 で
り

① 四年
以 い
上 じょう
たつ

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩
⑨
⑧
⑦
⑥
⑤
④
③
②
①
- 会
に
話
を
み
ん
な
で
方
法
約
児
童
館
塩
を
加
え
る
松
の
木
二
億
年
前
て
い
ね
い
な
説
明
- 参
加
伝
協
力
ほ
う
ほ
う
や
く
じ
ど
う
か
ん
く
わ
まつ
に
お
く
ね
ん
せ
つ
め
い
- す
る
え
る
す
る
を
考
え
る
そ
く
を
や
ぶ
る
が
で
き
る

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩

完	かん
全	ぜん

に治る
- ⑨

博	はく
物	ぶつ
館	かん

に行く
- ⑧

自	し
然	ぜん

を守る
- ⑦
アジアの

気	き
候	こう
- ⑥

順	じゅん
番	ばん

にならぶ
- ⑤

分	ぶん
散	さん

しておく
- ④

大きな	へんか
変化	か
- ③

日本	かくち
各地	ち
- ②

車の	せいさん
生産	さん
- ①

例	れい
をあげる	あ

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ 辞書 じ しゃ
で調べる
- ⑨ いろいろなしゆ る い
類
- ⑧ い腸 ぢ ぢ
が弱い
- ⑦ 最初 さい しょ
に言う
- ⑥ 夏の祭典 てん
- ⑤ 共感 きようかん
をよぶ
- ④ パソコンに かんしん
関心 をもつ
- ③ 別 べつ
の場所に行く
- ② 要点 ようてん
をよく聞く
- ① 必ず帰る かならず

1問10点

点

コメント;

日付

⑩ 世界
 記き 録ろく
 をやぶる

⑨ 肉を
 焼や
 く

⑧ 漢字の
 成な
 り立ち

⑦ テニスの
 試し 合あい

⑥ 倉そう 庫こ
 にしまう

⑤ 庭を木で
 囲かこ
 む

④ ひもを
 結むす
 ぶ

③ 芸げい
 じゆつの秋

② 右みぎ 側がわ
 つうこう

① 学校の周まわり

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ 積つ
み木で遊ぶ
- ⑨ 勉強の
量りょう
をふやす
- ⑧ 熱ねつ
がでる
- ⑦ 機き械かい
にくわしい
- ⑥ ゴミを
利り用よう
する
- ⑤ 円の
面積めんせき
- ④ 部屋の温度を
調節ちようせつ
する
- ③ 牛が
牧草ぼくそう
を食べる
- ② 日が
差さす
- ① 郡部ぐんぶの学校

1問10点

点

コメント;

日付

⑩ 結 けつ
論を言う

⑨ 成 果 か
が上がる

⑧ なん 極 きよく
のペンギン

⑦ 胃 い
ちようが弱い

⑥ 漁 りよう
に出る

⑤ 市街地 しがいち

④ えだが折 お
れる

③ 友だちを信用 しんよう
する

② 芽 め
が出る

① 本を借 か
りる

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩
 - ⑨
 - ⑧
 - ⑦
 - ⑥
 - ⑤
 - ④
 - ③
 - ②
 - ①
- 季き
節せつ

の花

空を

飛と
ぶ

花びんを

置お
く

家を

建た
てる

記き
念ねん

の行事

一兆円

いっちようえん

の予算

目的

もくてき

を持つ

古い民家

みんか

最後まで

残のこ
る

私の欠点

けってん

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ マラソンでー
位_い
になる
- ⑨ けいさつ
官_{かん}
- ⑧ 武_ぶ
士_し
のなさけ
- ⑦ 望_{のぞ}
みをかなえる
- ⑥ 実_{じつ}
験_{けん}
をする
- ⑤ 食器_{しょつき} を洗う
- ④ ささやかな願_{ねが}い
- ③ 音読みと訓_{くん}読み
- ② 観_{かん}察_{さつ} 日記
- ① ゆう便_{びん}局

1問10点

点

コメント;

日付

- ⑩ 上じょう 陸りく
地点
- ⑨ うでの
血けっ 管かん
- ⑧ 無む 人じん 島とう
- ⑦ 仲なか 間ま
を集める
- ⑥ 鳥の
巢す
を見つける
- ⑤ 公 会 堂
こうかいどう
ができる
- ④ 祝 電
しゅくでん
を打つ
- ③ 新しいスポーツを
試こころ
みる
- ② 観 光
かんこう
バスにのる
- ① 相手あいてが 喜よろこぶ

1問10点

点

コメント;

日付

①

四字熟語忍法帖

名前

意味

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		
一日千秋		一心同体		空前絶後		危機一髪		自画自賛		弱肉強食		絶体絶命		前代未聞		半信半疑		臨機応変		
いちじつせんしゅう		いっしんどうたい		くうぜんぜつご		ききいっぱつ		じがじさん		じゃくにくきょうしよく		ぜったいぜつめい		ぜんだいみもん		はんしんはんぎ		りんきおうへん		
待ち遠しくて、一日が千年にも思えるほど、時間のたつのがおそく感じられること。		二人以上の人があること。		今までに比べられる例が一度もなく、これから先も二度と同じような例は起こらないと思われること。		髪の毛一筋ほどの違いで危険なめにあいそうなこと。		自分で自分のしたことをほめること。		弱いものをぎせいにし、強いものが栄えること。		どうしても逃れる方法のない困難な立場にあること。		これまでいちども耳にしたことがないような、めずらしい、かわったこと。		なかば信じ、なかば疑うこと。ほんとうかうそか、判断に迷うこと。信じきれない状態。		時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。		

②

四字熟語忍法帖

名前

意味

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①							
意気投合		いきまっぴら		いちぶしじゆう		いっせいちだい		群集心理		起死回生		自給自足		十人十色		電光石火		千変万化		百発百中		問題		ひやっぱつひやくちゆう	
																						意味			
考えや好みなどが一致して、気持ちがぴたり合うこと。		物事の始めから終わりまで全部。		一生のうちでもこれがいちばんという、はなばなしのおこないをすること。		群がり集まったために生じた、ふだん一人のとぎとは異なる特別な心理状態。多くの場合、気持ちが高ぶり、他人の行動や行動にひきずられて、ふつうではできないようなことまでしやすくなる。		死にかかっていた病人を生き返らせること。非常に悪い状態からよい状態へ立ち戻らせること。		食物や衣服など、自分が生きていくのに必要なものを自分で生産し、用を達すること。		好みや考えが人それぞれに違うこと。		きわめて短い時間。とてもすばやい行動。		ものごとの変化の多いこと。場面や事件がつぎつぎと変わっていくこと。		発射すれば必ず命中すること。予想や計画がいつも思ったとおりに実現すること。							

四字熟語忍法帖

③

名前

問題

意味

<p>①</p> <p>ふげんじっこう</p> <p>不言実行</p>	<p>にそくさんもん</p> <p>二束三文</p>	<p>たいきばんせい</p> <p>大器晩成</p>	<p>しゅしゃせんたく</p> <p>取捨選択</p>	<p>しくはつく</p> <p>四苦八苦</p>	<p>こうへいむし</p> <p>公平無私</p>	<p>うおうさおう</p> <p>右往左往</p>	<p>いつせきにちよう</p> <p>一石二鳥</p>	<p>いちぼうせんり</p> <p>一望千里</p>	<p>いくどうおん</p> <p>異口同音</p>	<p>⑩</p>
<p>あれこれ言わずに、よいと思うことやするべきことを、だまって実行すること。</p>	<p>数が多くても値段が非常に安いこと。</p>	<p>ひとがらや才能のスケールが大きく、優れている人は、若いころは目立たず、年をとつてから大成するということ。</p>	<p>いくつかのなかから、よいもの、必要なものを選び出して、悪いもの、不必要なものを捨てること。</p>	<p>非常に苦しむこと。苦勞の連続であること。</p>	<p>一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲を求める心がないこと。えこひいきせず、私心のないこと。</p>	<p>まとまりなくあちこちへ動き、うろたえ混乱するようす。</p>	<p>一つのことをして、二つの利益や効果を上げること。</p>	<p>見渡す限り、広々としている様子。</p>	<p>多くの人が口々に同じことを言うこと。多数の意見が一致すること。</p>	

④

四字熟語忍法帖

名前

意味

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		
付和雷同		日進月歩		大同小異		心機一転		自業自得		言語道断		公明正大		一朝一夕		温故知新		以心伝心		
ふわりいどう		にっしんげつぽ		だいどうしやうい		しんきいつてん		じごうじとく		ごんごうだん		こうめいせいだい		いちちういつ		おんこちしん		いしんでんしん		
自分の考えを持たないで、人の意見にいかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動すること。		日に日に、驚くほどのはやさで進歩すること。		小さなちがいはあるが、おおよそのところは同じであること。大差のないこと。		あることをきつかけとして、心がけが、がらりと変わって、望ましい方へ向かうこと。		自分が悪いことをしたために、よくない報いを受けること。		言葉も出ないほど、まったくひどいこと。あきれ言葉も出ないこと。		公平で、不正やかしくごとがなく、少しの私心もないこと。		ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。		昔のことを訪ねもとめ、そこから新しい知識を得ること。		だまっけていてもたがいに心が通じること。		

⑤

四字熟語忍法帖

名前

意味

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題
一期一会	いちごいちえ	一挙両得	いつきよりようとく	一長一短	いつちよういつたん	五里霧中	ごりむちゆう	七転八起	しちてんはつき	針小棒大	しんしょうぼうだい	单刀直入	たんとうちよくにゆう	馬耳東風	ばじとうふう	無我夢中	むがむちゆう	有名無実	ゆうめいむじつ	
一生の間にただ一度出会うこと。生涯に一度限り。		一つのことをして、二つの利益を得ること (「一石二鳥」)		長所もあり、短所もあること。		五里四方に広がった霧の中にいるように、すっかり迷って、どうしてよいかわからないこと。		何度失敗してもくじけずに立ち上がって努力をこつづけること。		ちよつとしたことをおおげさに言うこと。		前置きなどなしに、直ちに本題に入ること。		人の意見や忠告をいっこうに気につけないこと。		あることに熱中して、我を忘れること。		広く知られているが、名ばかりで、実際の身や性質がともなっていないこと。		

四字熟語忍法帖

⑥

名前

問題

意味

<p>①</p> <p>がでんいんすい</p> <p>我田引水</p>	<p>いっしんいつたい</p> <p>一進一退</p>	<p>いんがおうほう</p> <p>因果応報</p>	<p>かんぜんむけつ</p> <p>完全無欠</p>	<p>さんかんしおん</p> <p>三寒四温</p>	<p>さんさんいし</p> <p>三々五々</p>	<p>しめんそか</p> <p>四面楚歌</p>	<p>せいこううどく</p> <p>晴耕雨読</p>	<p>せんさばんべつ</p> <p>千差万別</p>	<p>ちようさんぼし</p> <p>朝三暮四</p>	<p>自分の都合のいいように考えたり、したりすること。</p> <p>状態や情勢がよくなったり悪くなったりすることが繰り返されること。</p> <p>過去および前世の行為の善悪に応じて、報いがあること。</p> <p>完全で、少しも不足するところがない。</p> <p>三日間くらい寒い日がつづき、そのあと四日間くらい暖かい日が続くという、冬から春先にかけての気候。</p> <p>三人、五人と、少人数が連れ立って行動するようす。</p> <p>まわりがみな敵となり、孤立すること。</p> <p>晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。転じて、世間のわずらわしさをはなれ、のんびりと自由に生活すること。</p> <p>多くのものがそれぞれ違っていること。</p> <p>目先の違いにこだわって結果が同じになることに気が付かないこと。また、言葉の上だけでうまく話して他人をだましたり、ばかにしたりすること。</p>
-------------------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---

四字熟語忍法帖

名前

問題

意味

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
一触即発	一網打尽	一刀両断	意味深長	雨天順延	海千山千	九死一生	急転直下	興味津々	古今東西
いっしょくそくはつ	いちもうだじん	いっとうりようだん	いみしんちよう	うてんじゆんえん	うみせんやません	きゆうしいっししよう	きゆうてんちよつか	きようみしんしん	ここんとうざい
ちよつとさわつただけでもすぐに爆発しそうな危機に直面していること。今にも争いが起きそうなこと。	網を打って、一度にたくさんの魚をとらえることから、悪人の一味を、一度に残らずとらえること。	一刀のもとに真つ二つに切ること。物事を思い切って処理することのたとえ。	言葉などが深い意味をふくんでいるようす。	予定の日が雨のとき、晴れる日まで日程を延ばすこと。	世の中のいろいろな経験を積んでいて、ずるがしこく、したたかであること。また、そのような人。	ほとんど死にそうであつたのが、危うく助かる。	事態が急にかわつて結末・解決にいたること。	次から次へと興味がわいてくるようす。	むかしから今にいたる、せかいのあらゆるところ。

⑧

四字熟語忍法帖

名前

問題

意味

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
小春日和 こはるびより	黄金時代 おうごんじだい	疑心暗鬼 ぎしんあんき	奇想天外 きそうてんがい	喜怒哀楽 きどあいらく	再三再四 さいさんさいし	七転八倒 しちてんぱつとう	自問自答 じもんじとう	終始一貫 しゅうしいつかん	自由自在 じゆうじざい
冬の初めのころ、春のようにおだやかで暖かい天気。	勢力や活動がもつとも盛んで、栄えている時代。最盛期。	疑いの心をいだと、ありもしない恐ろしい鬼の姿を見たりするようになり、なんでもないとまで疑わしく恐ろしくなる。	ふつうでは思いつかないような変わったこと。また、そのような考え。	喜び・怒り・悲しみ。人間のいろいろな感情をあらわしたもの。	二度、三度、さらに何度もくりかえして。	がまんできない痛みや苦しみでのたうちまわること。	自分自身に問いかけて、自分で答えること。	ある態度や状態が、初めから終わりまで変わらないおと、	どのようにでも自分の思い通りにできるようです。

四字熟語忍法帖

名前

意味

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①			
四六時中		青天白日		適材適所		独立独歩		二者択一		二人三脚		白砂青松		八方美人		千載一遇		創意工夫			
一日中。いつも。常に。		晴れわたった天気。心にやましいところがない。潔白なこと。疑いが晴れ、無実が明らかになること。		人を、その人の才能や能力にふさわしい仕事につけること。		他人にたよらないで、自分の信じるところを言うこと。		二つのうちの、どちらか一つを選ぶこと。		二人が並んで内側の足を結び、走る競技。二人が協力して一つのことにあたることのため。		白い砂浜がつづき、青々とした松が並ぶ美しい浜辺の風景。		だれから悪く思われぬように揚力よくふるまう人。		千年のあいだに一回めぐりあうかどうかと、いった、めったにないこと。		自分の力で新しいものを考え出したり、よい方法をいろいろ考えたりすること。		問題 そういくふう	
しろくじちゆう		せいてんはくじつ		てきざいてきしよ		どくりつどつぽ		にしゃたくいつ		ににんさんきやく		はくしやせいしよう		はっぽうびじん		せんざいいちぐう					

四字熟語忍法帖

名前

意味

⑩		⑨		⑧		⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		問題	意味
多種多様	たしゆたよう	他力本願	たりきほんがん	表裏一体	ひょうりいつたい	品行方正	ひんこうほうせい	変幻自在	へんげんじざい	三日坊主	みつかぼうず	優柔不断	ゆうじゆうふだん	用意周到	よういしゆうとう	立身出世	りっしんしゅつせ	老若男女	ろうにやくなんによ		
種類や形式がさまざまであること。		自分で努力しないで、他人の力や助けをあてにすること。		二つのものが切りはなせない深い関係にあること。		人のふだんの行いが正しいこと。		思いのままに、突然現れたかと思うと突然消えること。すばやく、思い通りに変化すること。		あきつぽく、何をしても長続きしないこと。また、その人。		ぐずぐずしていて、なかなか決断できないこと。		物事を行うために必要な物や条件を、細かいところにまで注意をくばって、手落ちがないようにととのえること。		社会に広く名前を知られ、立派な地位につくこと。		年寄りと若い者、男性と女性みんな。			